



NAGASAKI
MONO-GRAPH

17 有限会社 山崎マーク

— ユウゲンガイシャ ヤマサキマーク —



ほしいものは、つくる。

刺繍とプリント。創業当時からTシャツやキャップに刺繍加工やプリント転写を施すことで、オリジナルのユニフォームやグッズなどの制作を手掛けてきた。この技術を継承しながら、今っぽくアップデートできないか。よりポップに、よりカジュアルに。そんな心意気の表れがコンセプトショップ「Manto」だ。雑貨店のようなやわらかな雰囲気的空間には、ベースとなるTシャツやバッグといったサンプルがセンスよく並ぶ。「ほしいものがなければ、自分でつくればいいじゃん」。子ども

が描いた落書きでもいいし、家族みんなが笑う写真でもいい。その背景にあるものがたりが、自分たちだけの特別なものとなる。そして思い出となる。最近のイチオシはキャンバス地への写真のプリント。「ましかく」なかわいさ、キャンバス地ならではのあたたかみのある質感。額縁も不要の手軽さが今の時代にちょうどいい。プリントで遊ぶ、プリントと遊ぶ。2代目が目指す理想郷がここにある。

平面から立体へ!多様な素材への
プリント新サービスによる
新市場開拓

| 補助事業のきっかけ |

多品種小ロット生産を確立し
時代に合ったサービスを追及

3年前の代替わりを機に、もっと自分のカラーを出したいとの思いから佐世保市に「Manto」というコンセプトショップをオープン。しかし、従来と同じTシャツへのプリントや刺繍では一般客、特に女性の集客は見込めない。また近年、多品種少量かつ個性的な素材へのプリントのニーズが高まっているものの、現状の設備では対応が難しくなっていた。

| 補助事業の内容 |

平面から立体にシフトし
新たな価値を生み出す工夫を

そこで新たな商品開発環境を整えるため、UVプリント機器とテーププリント機器といった特殊印刷機械を導入。これまで対応できなかった革やアクリル、特殊繊維製品などへのプリントができるようになった。特にUVプリントは高低差2mmまでの曲面や凹凸にも印刷が可能。光を当てると乾く特性があるため、熱に弱い素材にも印刷できるというメリットも。

| 補助事業の成果 |

日々の暮らしに彩りを添える
ちょっとした特別感を味方に

従来の布地を中心とした平面へのマーク加工技術(プリント、刺繍、圧着)に、立体への加工が加わったことで特殊案件の受注取りこぼしがなくなった。また小ロットでオリジナルのテープを作成できるテーププリントは国内でもまだ数社しか導入していない最新の設備。個人のカフェや雑貨店、ブライダルでのメッセージ入りリボンなど活用を広げたい。

Information

会社名 | 有限会社 山崎マーク

住 所 西海市西海町川内郷1106
連絡先 ☎0959-32-1423 FAX.0959-32-0892
http://www.yamasaki-mark.jp
✉info@yamasaki-mark.jp

- 代表取締役 山崎 秀平
- 設立 1989年2月9日
- 資本金 300万円
- 業種 繊維工業
- 従業員 36名

